



おいらの技はどようだ！二段男子の部

平成17年度 第2回 初・二段審査会開催 26士のみなさんが新しい仲間

二月十一日高崎武道館で高崎支部平成十七年度第二回剣道初二段審査会が開催されました。第一回は昨年十月に行われ二段二十二名初段七十一名が誕生し



第20号
発行場所 高崎市石原町内
高崎武道館内
発行責任者 剣道連盟 高崎支部
広報担当 上條

☆☆☆☆☆☆☆☆



目付をしっかりと固めて：初段女子

ております。今回は第一回に比べ当然挑戦者の数は減少しておりますが二十八名のみなさんが挑戦いたしました。審査に臨むにあたり過日普段なかなか練習のできない日本剣道形の支部の講習を受けました、審査受験に臨む心構えなど学んでの本日の挑戦です。多くの挑戦者は中学、高校生です。日常ベイパーテストはもうイヤになるくらい経験しております。しかしこうした剣道の審査は実技の伴うまた規則正しい所作の伴う審査で自由に慣れている今の人達にはなかなか大変なことであるかもしれない。審査に入る前にまずは緊張を解してあげようと支部藤木事務局長

の号令で切り返しから基本打ち稽古だ。ひと汗二汗を頬ににじませるとそう心も何となく落ち着いてきます。 ”よしやってやる！”と勇氣も湧いてきます。ウォーミングアップ基本打ちが終わるといよいよ実技の審査が始まりました。審査はとりもなおさず受審される皆さんが、初段にそれぞれ二段にそれぞれふさ

わしいのかどうかを見極めることです。そのふさわしさとはそれぞれ受審者みなさんの剣道に対する日常の取り組み姿勢の有り様です。そしてそれが鏡のようになってこの実技試験のなかに現れてきます。それぞれのふさわしさに今一歩どころかなくなつた受審者も数人出てしまいました。その人達には再度の挑戦を期待して止みません。実技をクリアしたみなさんは今度は日本剣道形の演武です。この剣道形も規則正しい動きの中に旺盛な氣力が求められます。ただ何気なくやっているのは形になりません。自主申告で



師範室で会議：合議

やり直しを挑戦した人も多し。そして最後は筆記試験。多い。でもなんとか皆さん超緊張の中でした。がし。今度は剣道を言葉にしてのけられたたようです。著していく。すいすいと

第一回 合格者氏名

【二段男子】 中澤寛一、今井洋輔、得居勇斗、井田智也
竹内駿、坂本泰輔、城田駿、金野真也、永井智章

【二段女子】 高橋麻理恵、俣田咲、中島亜弓、庭屋葉月

稲沢紫穂、安藤雅章、赤尾美沙子、市川友美、羽鳥七美

柴崎智子、矢内千春、杉田なつみ、新井美帆

【初段男子】 本間拓海、田村哲明、井野達也、六串俊輔、

井田大貴、小見敏裕、山田康平、梅香家拓真、林優記

堀越健人、山下晃平、佐藤恭考、棟近貴之、古谷義貴

湯浅亮、庭屋貴史、上田大貴、武井勇樹、久保田隼人

川山宗祐、高橋武尊、田中理己、佐々木大介、北村稔

新井貴弘、阿部貴行、長谷川翔平、小川晃司、清水拓

小林浩貴、富田翔、泉智也、矢島剛志、吉沢英之

内田卓見、本多孝如、前原匠、浦野達也、高橋謙輔

金子徳杜、山崎尚、西野敬祥、大竹直哉、岩崎敬

小坂橋慧、山崎英悟、甘田岳、平井峻、中村安利

小井戸祐樹、吉田裕貴

【初段女子】 関口真生、寺田沙紀、松下亜希子、清水友里乃

安藤雅菜、佐藤里沙、岩崎瞳、青木千広、松浦加奈

須藤岬、大谷華代、市川祐里佳、中島千遥、黒澤佳世

北村春夏、今井萌香、小幡梓

川上美樹、工藤朋、賀澤奈津美

第二回 合格者氏名

【二段男子】 三浦陽一郎、堤友哉

【二段女子】 高橋瑞貴、金田有里

【初段男子】 横関幸司、高瀬裕介

村山周平、夏八木透人、松岡秀樹、岡山弘樹、宮脇節

高野晃、長野聡一郎、篠原真太郎

【初段女子】 中里麻利、小山芽衣子、関ひとみ、井田奈々子
佐々木彩、関郁未、松本真実、堀越維、田邊絢
荻原千晴、中島沙帆里、原口悠都



私の剣道



剣道初段 中島 沙帆里 (高南中学校)
私は中学校で初めて剣道を始めました。剣道を始めようと思ったきっかけは兄が剣道をやっていたということでした。私が小学生の時に兄が大会に出場するというので応援に行きました。会場内にはいると大きな声、気迫、態度、全てに圧倒されてしまい、自分がとても小さく見えました。兄が手のとどかない存在、とゆう様な感じでした。

試合ははじまって驚いたことがありました。私の中では剣道は竹刀で打って大きな声を出すというイメージでした。そんな私のイメージはくずれさりました。ただ声を出して打てばいいというものではなかったのです。打っただけでは勝てないという事を知りました。そして一番驚いた事は、女子もたくさんいたという事でした。剣道は男子のスポーツだと思っていたので本当に驚きました。その時の先輩方がとても格好良く見えたので、私は中学生になったら剣道をやろう、そして今日見た先輩方のようになるんだ、という気持ちになったのです。

わたしはこれからも剣道を続けたいと思っています。これからの目標はもちろん強くなって優勝することです。それはもちろんなのですが、礼儀もきちんとしていきたいと思えます。礼儀は剣道の基本です。基本をきちんとすることで気持ちよく剣道ができます。私はただ強くなるだけではなく、基本がしっかりできるようになりたいです。

平成17年度第2回審判講習会

審判がよくなれば試合がよくなる
試合がよくなれば剣道がよくなる

☆☆ 商大・東高の応援により審判実地訓練☆☆



熱心に伝達：群馬さん

西山の各氏のうち群馬氏が主軸となつ

ブは課題の一つでありま
す。支部長は「支部主催
の試合などで拝見すると
当支部ではまだまだ褒め
られる審判はきわめて数
少ないように思う。審判
の意義を十分認識され互
いに研究し合つてレベル
を上げて行きましょう。」
審判がよくなれば試合が
よくなりそして剣道が良
くなります。」と挨拶さ
れました。講習会は先に
県連での審判講習会に参
加した堀越、須田、群馬、



第一顧問岡田先生も今日は生徒で参加

ました。その後は商大、
東高の皆さんに協力して
頂き模擬試合を行つてい
ただきました。参加者は



今のはあかだよな・・・そうかいね？

繰り返し繰り返し実
地訓練です。場数を踏む
こと、これがやはり一番
です。最後に藤木局長が
応援両校の皆さんに「審
判の判断にはグレーゾー
ンがあります。そのゾー
ンを自分の
モノにして
ください」とアドバイ
スしました。

いつきにペンがすすむ人
一字一句記載に顔を斜め
にして思案する人といろ
いろです。なんとか書き
上げてそれぞれ先生方に
採点講評を受けました。



じっくり審査：長井、飯塚、淡輪審査員

そして今日この日二十二
名の初段剣士が私達の新
しい仲間として誕生しま
した。またさらに剣に磨
きをかけた二段四名が誕
生です。これで第一回審
査と合わせる初段九三
名二段二六名が平成十七
年度この高崎支部から誕
生したことになります。
この人達がこれからも長
く剣道を続けていつて何
らかの形で日本剣道文化
の伝承に係わっていただ
くことを心から期待しま
たそれを確信いたします。

初二段の審査が終了
した午後には、今年度第
二回目の審判講習会が開
催されました。年に二回
開催される支部審判講習
会であるが毎回参加者が
少なく依然として支部全
体としての審判レベルアッ

お話をた
たいて
二段の
初段の
審査に
参加し
ました。

大人の剣道もめざしん

剣道二段 三浦 陽一郎 (高崎東高校)



打ちが多く気剣体の不一致とよく剣道をするのがよくあります。
今の自分を変えたいためには、まず基礎をしっかりとつくるのが大切だと思います。それは正しい構え、姿勢、足さばきができそして相手を引きだし、相手が打とうと思つたところをおさえられる技術を身につけることです。これがおとなの剣道になるために必要なことではないでしょうか。私はその剣道を目指して日々練習していきこうと思つています。

これから剣道を続けていくためには今の自分のままではいけないと思つています。そのために私は大人の剣道をも身につけなければいけないのです。
大人の剣道は「基本ができていて落ち着いた剣道」といままでも私が見てきて思う剣道です。無駄打ちが無く、早く動かなくても有効打突になる。常に落ち着いていてあわてた様子がない剣道です。しかし大人でない剣道は無駄打ちが多く有効打突があつても残心をとらな
いなど違いがはつきりしています。今の自分は気だけが強く、無駄

剣客八段 副将 中堅 滑り出し 谷八段 勝ち残り

06' 国民体育大会
県一次予選会：ぐんま武道館

平成十八年四月九日ぐんま武道館で群馬県剣道大会、国体一次予選会が開催されました。道すがらの敷島運動公園の桜は大満開。市民の多くの皆さんがテールブルヤシートを持ち込んで”機は今ぞよ”と言わんばかりにこの季節の旬を全身で謳歌



面技の奪えた谷八段：対中山八段との演武

しているようでした。さて恒例の群馬県剣道大会は試合ではなく演武として日頃培った技を披露する形であります。高崎支部からは七段相河、秋野両氏そして八段谷氏がそれぞれ出演し演武を披露してくれました。特に谷八段と藤岡支部の中山八段の演武は見応えがありました。お互いに呼吸の奪い合いでその一瞬をとらえた谷八段が中山の面に一太刀。私達をうならせてくれました。またこれは最高！とても言いたくなる吾妻支部高橋先生と前橋支部の筑井先生の演武である。お二方を合わせて百七三歳の御齢。年を重ねればよいとゆうものではないがこの御高



173歳御齢の大演武

齢まで第一線で剣道をされこうしてお見事に衆目の前で演武が披露できるなんてまさに生涯剣道そして現役万歳です。筆者は感激の極みで自分も出来るならばこうありたいと心から感じました。次に国体予選会です。高崎支部からは十四士が挑戦しました。国体は年齢別に各将を定めております。今日は各区分でのベスト4が決められました。さてわが十四勇士の戦いぶりはどうだったでしょうか。主な活躍をご紹介します。

先ず先鋒の部で若手秋山淳が活躍をしました。初戦から苦戦ではあったが機転の引き面技で一勝、二戦目も制し両親の見守る中で大活躍でした。次鋒の部



ウエイビングで夢幻：高橋選手

は中曽根裕和が一勝、第二戦目は前橋の原と長時間にわたり奮闘いたしました。そして最後まで残った谷八段、今日は面技が



大舞台上で活躍：秋山選手

では高橋健太郎がやはり変幻自在の剣道で二勝を果たす三戦目も惜しいところ。そして中堅の部で石田寛がまたまた大活躍。初戦から得意の面技で跳ばしベスト4の座をがっちり掴みました。また狩野裕史も二勝し小兵ながらの実力を見せつけてくれました。副将の部で



今日も活躍：奪えた面でベスト4石田選手

次々にきまり県警田村七段とベスト4の座を競います。この日谷八段の面技はとりわけ勢いがあつた。延長戦に入り田村七段の剣先を押さえながらいっきに面に出る。少し浅いかにもみえたが、その打突の勢いに審判旗が押し上げられ谷に高揚されました。大将の部です。



小兵狩野選手：大兵ものとなせず

久々に中央道場宮島七段が出場。第一戦では往年の出頭の面技をきっちり決めて制しました。剣春初戦総じて支部の仲間達は順調まずまずの滑り出



久々ダ：宮島七段

んも応援をよろしくお願いたしました。この日全国家庭婦人大会県予選会も開催されたのですが高崎支部からはエントリーがなくちよいつと残念でした。おかあさんたちが頑張らないと剣道が楽しくなりません。本当に。



延長大熱戦：中曽根選手

平成十八年度 高崎支部役員総会

★十七年度収支決算、十八年度事業計画等を承認★

メトロポリタン高崎

四月二日、ホテルメトロポリタン高崎で支部平成十八年度役員総会が開催されました。橋本支部長議長のもとで十九名の役員の方々が十八年度の支部の事業計画等について協議いたしました。藤本事務局長から提案された主な協議について概要を記してまいります。



議長に橋本支部長

協議の中心はやはり市町村合併に伴うこれからの支部の運営についてです。

一月に高崎市に各支部の合併も人の組織ゆえに難しいところも数

と群馬町、箕郷町、倉淵村、新町が合併しました。本当に高崎市も大きくなりました。秋には榛名町の合併も予想されます。群馬県剣道連盟の市町村合併に伴う剣道支部の合併についての考え方は平成一八年度については従来の各支部の枠組みで運営していただくが徐々に支部を統合あるいは、来年度からは行政の枠組みで一本化などというよう



議題を提案：藤本事務局長

多くあると思われませんが合併各支部により議論を重ねて、剣道文化を後世へ伝えていくのによりよい器にしていかなければなりません。すでに中体連の大会や市民大会などは新しい枠組みで運営されようとしていますが、いろいろな混乱も予想されますが支部の皆さんの協力をいただきながら乗り切っていきたいと思います。

また具体的な問題として審判レベルの高低があります。このようなことはないものと考えますが行政の枠組みで行われる大会は当然各支部の皆さんが混在で審判協力をするようになると思われます。その技術に段差があつて

群馬県剣道連盟高崎支部会計平成17年度収支決算報告書. Table with columns for '収入の部' (Income) and '支出の部' (Expenditure), listing various items and their financial values for the previous and current years.

平成17年度会計監査報告書

群馬県剣道連盟高崎支部の平成17年度会計について監査の結果、歳入歳出および決算が適正であることを確認しましたのでここに報告いたします。

平成18年3月31日 監査 清水 仁男 (印) 城田 清次 (印)



剣道談義パート1

は大変。平成十八年度は特段底辺を広げた審判講習会の実施が急務と思われまます。各道場の皆さんも進んで講習会に参加されること望みます。いつ支部が統合されるか判りませんが今の内に剣道もそうです。審判技術の腕もきちつと磨いておきましょう。平成十八年度支部事業の運営はほぼ昨年並みです。新規の事案としては都道府県対抗の小学生版全国大会が今年度から開催され、県で一チームが参加するとのこと。県に対するその選抜を支部として行い、方法については役員会に委ねます。市民大会は榛名町総合体育館で、また長年

し広場の都合で十一月十二日に開催することになりました。予算関係では皆さんに今年も会費の納入をお願いし、また審査講習料などの収入は諸般の事情により前年度に比べ一割程度の減収を見込みました。こうして7号



剣道談義パート2

おくやみ 去る二月、支部の顧問岡田庸一先生が亡くなられました。先生は荒木流学心館岡田道場の二代目館長として群馬県剣道連盟及び当支部に多大なる貢献をなされました。故人の教えを得た副支部長笠井先生は「岡田先生の教えの中で一番心に残っているのは先生が「師は弟子の師であるが又弟子は師の師である」とよく述べられていたことが出来ません。」と語られました。高崎武道館の師範名札が又一枚伏せられてしまいました。ご冥福を心からお祈り申し上げます。

■当期の行事予定 ◇四月二九日 中体連春季・寺尾中◇四月三〇日五月一日二日剣道六段七段八段審査会京都市◇五月六日 県高校総体個人 ぐんま武道館◇五月七日少年剣道錬成大会(道場連盟)ぐんま武道館◇五月十三・十四日剣道七段六段審査会名古屋市◇同日高校総体団体個人 ぐんま武道館 ■編集後記 新しい年度を迎えました。高崎がジャンボになって初めての春です。支部も将来に向けて大きくならなければなりません。お互い協力し合って頑張りましょう。剣春陽気も最高で、技を磨くのは最高の季節です。支部も四月二日に平成十八年度の運営方針を確認しました。また今年度も支部のみならず皆さんの協力とご活躍をよろしくお願いたします。広報 上條